

歯科材料 1 歯科用金属
管理医療機器 歯科鑄造用コバルト・クロム合金 70788000
コバリオン EX

【禁忌・禁止】

本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

**【形状・構造及び原理等】

1) 成分・分量

成分	分量 (W/W%)
コバルト	60.6
クロム	33.0
モリブデン	5.0
その他 (シリコン、マンガン、窒素、炭素)	

種類：歯科鑄造用コバルトクロム合金、タイプ5

2) 形状

質量6gの円柱状インゴット

3) 原理

本合金は、金属（合金）であり加熱により溶融し、鑄造後冷却され固化する。

**4) 仕様

JIS T 6115：2022 歯科鑄造用コバルトクロム合金、タイプ5

項目	代表値	
機械的性質	耐力 (MPa)	620
	伸び (%)	20
	ヤング率 (GPa)	205
密度 (g/cm ³)	8.2	
液相点 (°C)	1405	
固相点 (°C)	1365	
硬さ (ピッカース硬さ HV0.5) *	345	

※：JIS Z 2244-1:2024 による。

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物又は装置の作製に用いる。

【使用方法等】

[本合金と併用する材料]

- 歯科高温鑄造用埋没材
- 歯科用金ろう：「松風スーパーゴールドソルダー16」、
「松風デントソルダー」

[本合金に使用する機械及び器具]

- 歯科技工用高周波鑄造器

[使用方法]

- ワックスアップ・スプルーイング
通法によりワックスアップ、スプルーイングを行います。
- 埋没
通法により、歯科高温鑄造用埋没材で埋没を行います。
- 焼却・溶解鑄造
通法により、鑄型のワックス焼却を行った後、歯科技工用高周波鑄造器又は遠心鑄造器等を用いて本合金を鑄造後、室温まで放冷して埋没材と酸化膜を除去します。
- ろう着
ろう着を行う場合は、ろう着部を予熱後、フラックスを塗布したうえで、歯科用金ろう（松風スーパーゴールドソルダー16（液相点 815°C）、松風デントソルダー（液相点 920°C）等）を使用し通法によりろう着します。
- 研削及び研磨
通法により、鑄造体の余分な部分を歯科技工用アブレンプ研削器具で除去し、研削します。研磨仕上げは、歯科用ゴム製研磨材やバフ等で行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 溶解不足又はオーバーヒートで本合金の溶解鑄造を行うと、合金の性質を劣化させる恐れがあるので充分注意すること。
- 本合金を再溶解する場合は、サンドブラスト処理で埋没材や酸化膜を完全に除去し、新しい金属の使用量は2/3以上とすること。
- ブローパイプ溶解の場合は、酸化膜が完全に破れないためオーバーヒートに注意すること。

*【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 本合金の使用により発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 本合金の使用により発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 本合金の鑄造設備付近には局所排気装置、換気扇等を設けて密閉した部屋での作業を避け、鑄造により発生する粉塵等を吸入しないこと。
- 本合金の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。
- 本合金は、他の合金と混溶しないこと。
- 本合金については、試験によるMR安全性評価を実施していない。[自己認証による]

[有害事象]

有害事象として掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅延型金属アレルギー性疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- 本合金は、歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町11
*電話番号 (お客様サポート窓口) 075-778-5482